



O-MO

VIDEO

PHOTO

PORTRAIT



LO-MO

VIDEO

PHOTO

PORTRAIT

C
100
会場本



ブルーの(墮落した)日常



真珠貝

O-MO

VIDEO

PHOTO

PORTRAIT

■STORY & CHARACTER■

——20XX年、宇宙から飛来した2つの石によって地球は混乱する…一つの石は地球の兵器では傷すらつけられない『怪人』を産み出し、もう一つの石は純粋な願いを力に変え戦う『ジュウソルジャー』を生み出す…
『ジュウソルジャー』は対怪人の希望だったが敵は外だけでなく内部にもいた……戦う少女達はその毒牙にかかっていく…
蒼宮瑞波もその一人……『欲望』という純粋な毒が彼女を襲う

同じジュウソルジャーの安治の能力の催眠洗脳で厳格で清廉だった瑞波は彼が盗撮やエロ撮影をしているという写真部を取り締まろうとして罠にかかり洗脳される…
彼と同じ性癖や趣味…下品エロが好きな女にされる為に……

※ファンティアで、その過程を描いたCG集、掲載中です

■蒼宮 瑞波■〈ジュウソルジャー・ブルー〉



清廉潔白な生徒会長、水泳部の部長も兼任
幼少の頃から剣道もしていた和風美女
自分にも厳しい女性だが優しく男女共に人気
だが義理の兄弟の『朝陽』に恋慕している
朝陽には彼女がいるせいでキモチは抑えている

バスト112(P)→116(Q) ウエスト59→61 ヒップ101→103
〈洗脳時、安治たちとセックス等しているせいで
体が更に卑猥に…訓練もサボりがちで贅肉も増〉

■大森 安治■〈ジュウソルジャー・グリーン〉



写真部の部長、中身はエロコス撮影や犯罪まがいの盗撮で金を稼いでいたりするオタク
ジュウソルジャーとしては頭脳やからめ手で戦う…
だが、その技術を悪用し洗脳装置など作ったりと裏の顔を持つ……瑞波も、その罠にかかり
安治と同じオゲレツエロゲーやエロコスが好きになるよう徐々に洗脳され続けている…

■蒼宮 朝陽■〈オペレーター〉



瑞波の義弟、ジュウソルジャーのオペレーター
同じ組織の、ジュウソルジャーピンク桜間心咲の恋人
優しい少年だが鈍感で瑞波のキモチに気づいていない

「ジュウソルジャー」

宇宙より飛来した力ある石
その石の力により産まれた
怪人は兵器も効かぬ怪物だった……

對抗できるのは
同時に飛来した、もうひとつの石
純粹で純然な願いを持つものに力を与える
ジュウストリン……
力を与えられ戦う若者達の名はジュウソルジャー



その中に眉目秀麗…清廉潔白な
十桜学園生徒会長がいる…
「蒼宮会長、おはようございます♡」
「ああ、おはよう…ほら、タイが曲がって
いるぞ? 気をつけてな」
「あ…あ、ありがとうございます♡」

女性徒達の黄色い声が
聞こえる……彼女…
蒼宮瑞波は何よりも規律を重んじる
ジュウソルジャーにおいても
厳格なリーダー的存在……

……だが……

「ヌフフ♥やっぱり
オゲレツ衣装がよく似合いますね
瑞波先輩っ♥」

「くっ！またカメラで覗いているのか…
毎回よくここまで下劣な服を
用意出来るな…貴様は！」

「撮影部…改めドスケベ研究部の
部員ならソレぐらい当然でしょう♥
…瑞波先輩も一員なんですから♥」

「ん…
まだこんな…」

「くっ…情けない…なんで
コイツと同じ性癖を持って
しまったんだ…」
清廉な生徒会長は撮影部と称される
スケベ行為をするだけの部活を
水泳部と兼任していた…

それもこの男子生徒
大森安治のせいである…
彼はジュウソルジャーの一員
ソルジャーグリーン…
戦闘技術は高くないが
その頭脳で兵器開発や
特殊技術を担当していた

「早く見せる
よソルジャー…」

「スグに
イキます♥」

ただ…彼は技術を悪用していた
自分の思い通りに女性を…
瑞波を動かすため洗脳し…
洗脳状態では自分と同じ
下品コスやスケベ行為が
好きな性癖に捻じ
曲げていった…

前のままだったら…

は？着るわけ
ないだろう
退学処分にして
ほしいのか？

何度も洗脳状態に
したおかげで今は…

……しょ…
しょうがないな
……一応、私も…
部員…だしな…

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

「では撮影部
改めドスケベ部
として撮影して
おきましょう♡」

（洗脳状態は毎日一定時間しか
できなかつたけど…）
「お…おい…今日の活動は…
違うだろ……まったく…」

「こ…これでいいか？はぁはぁ♡」
「言われた通り毛の処理はしてないんですね♡すごい剛毛♡」
「…お前に渡された迷彩装置がなければ…水泳部でバレして
しまうところだ……あうっ♡…撮られてると…興奮…してしまっ♡」
（洗脳状態のドスケベ人格の影響を受けて…
…だいぶん元人格も変わりましたね、ぐふっ♡）

パシ

くっ♡

パシ



「まだ付き合っていない
幼なじみで仲のいい二人
ヒロインは清楚な
神社の巫女なん
ですけど……」

「……それで……今日ヤル
エロゲーは……なんだ？
こんなコスさせると
言うことは……」
「ええ……先輩の期待通り
オゲレツ寝取られ
エロゲーですね♥」

「間男のデカチンチャラ男に染められて……
下品なおナホ女になってしまったという話
なんですよ♥シチュが瑞波先輩と似てますよね♥」
「……お前のどこがチャラ男なんだ？」
「寝取られとかデカチンは否定しないんですね♥」
「それは……んっ♥……それより何故、貴様も
裸なんだ……んくっ♥あと……私の乳輪で
遊ぶな……んう♥……集中できん……」

あ……ん
ん……ん

わ
わ

わ
わ

「いつもシてるコトじゃないですか♥
部員にも秘密の二人きりのエロゲ研究会の時には」
「お……お前が弄りまくるせいで……最近は家でも……
ずっと乳首とか気になって……はうっ♥」



「そのせいか……最近
このドスケベ爆乳
大きくなりましたね♥」
「うぐっ♥お前のせい……だぞ
……体も……んう♥……肉付きが……
……はうんっ♥」
「ヌフフ♥エロ乳首
こんなにちわ……と……簡単に
出るようになりましたね♥」

やめ……
ん……

ん
ん



「ヒロイン…
チャラ男と
寝てから性格も
格好もエッチに
なってる
きましたね」

「瑞波先輩も
チャラ男とエッチ
してるよときの
感じ真似してみ
てくださいよ♡」
「んお♡ふんどし
引っ張る…なあ♡」
「ホラ、早く早く」

「うくっ…
ああんっ♡だ…だめえん♡
オマンコこんな…玩具みたい
扱っなんてえ♡…おほっ♡
でもコレ…くるっ♡んおっ♡」
「めふっ♡さすがドスケベ研究の
成果出てますねえ♡」

んお♡
きゅっ♡

ちゅっ…
んうっ♡

おんっ♡
んおっ♡

んお♡
んお♡



「フフ♡毎日シテたからな…
んおっ♡手マン…やっべ♡」
「あ、ゲームでも二人また
セックスし始めましたよ♡」

「俺らも一緒に
イキましよう♡」
「おほっ♡くるっ…♡
一緒にイクなんてっ…♡
…んおっ…♡」

あん♡
ずん♡

んお♡
んお♡

んお♡
んお♡



「さすがドスケベ部の
部員...瑞波先輩っ♡
素晴らしいイキっぷり♡」
「おっ...ほっ♡...茶化すなあ...♡
でも...エロゲしながら...んあ♡...
オマンコ...ほじられるの...♡
たまらん♡...ふうふう♡」
(ヌフフ♡洗脳なしでマンコとチンコ
弄り合う仲にまで...)



貴様のせいで
オマンコがこんな
なってしまったぞ♡

(ついに
ここまで...
これなら...)



(戦闘が終わる度に...)

貴様！
ヤル気は
あるのか!!

(とか毎回
説教してた先輩が...)

「あー…ヒロインは
ついにヤリチンに
チンコ乞いダンス
はじめましたね♥」

「ほっ♥ほっ♥んほっ♥
おちんぽいれてえん♥
みずのはチンポ日照り雑魚マンコに
ざーめん♥どびゅ♥どびゅ♥
うるおじてえろ♥ん♥」
「うほっ♥たまらない♥
すぐいれますよ♥」

「そう…だな…
ふうふう♥
なら…真似
しなければな♥」

「ばっ…バカ!これは演技だ!セックスまでは
しない約束だろう…おっ♥でもチンポすごっ♥
…が…ガチガチだな♥」
(セックスなら洗脳中に散々シテますけどね♥
洗脳時の記憶は消えますから…でも
ココまで堕ちたなら…)

「だ…だが…そんなにチンポ固く
しているなら…サービス尻コキだ♥
ばこっ♥ばこっ♥みずのはマンコに
ざーめん♥キすてっ♥ほっ♥んほっ♥」



「望みどおりシテ
あげますよっ!!」

「おおー
んおー」

「ぶー
ん」

「ひおっ!?!♥なっ…
何を…今のは
演技でっ…ひぐっ!!」

「こんなの見たら
セックスするしか
ないでしょ!うっ」
「うぐっ!わ…私は
初めて…なんだぞっ…
あぐっ!!♥んひっ」

「あぐ
ん」

「ず
ん」

「ず
ん」

「な…なにに何故だっ♥おっ♥
安治デカチンポすんぞっ♥
んおっ♥」
「うほっ♥んほっ♥なんて…
初めてなのに…こんなにつ…
あぐう♥んおっ!!」
「今までのスケべ研究が
効いたんですかね?うっ♥
相変わらず具合がいいっ」

「ひお
ん」

「ぶ
ん」

「んお
ん」

「な…なに言っ…はぐう♥」
「(うっ♥初めては…
叶わないのはわかっていても
朝陽にと…願っていたのに…
…こんな奴に…)」

「本当は、こう
なりたかったんしょう？
ムッツリドスケベの
瑞波センパイっ♡」
「違う…んぐっ！♡なんで
初めてなのにい…んお♡」
「こんなに安治チンポで
感じてしまうんだあ♡
おうっ♡これやバっ♡」

「もう朝陽くんは
違う女いるんですから…
俺と恋人になってもつと二人で
ドスケベ研究しましょうよ♡
ほら、舌だして♡」
「お…お前となど…んっ♡
キスはだめ…だあ…んべえ♡」
「くっ…こんな奴に…告白
されて…胸が高鳴る…などお♡」

「んぶっ♡んちゅう♡んうう♡ん♡」
「うぐっ…初キスを安治に…しかも…ハメながら
ドスケベキスなどお…んお♡キスハメでイクっ…♡」
「んぶ♡…コレだけ洗の…言ってもダメれふか
じゃあセフレで…ぶちゅ♡んぐちゅ♡」
「んべ♡んふう♡せふれえ♡…んぶちゅ♡」

（変態と蔑んでいた
安治とドスケベの為に
セフレに…そんな
オゲレツエロゲみたいな
関係…）

「んほっ♡んふっ♡……これでいいの？」
「最高ですよ……じゃあ自己紹介しましょう♡
大丈夫です、目線はいれておきますので」
（ドスケベコスROMを作ってエロコスイベ参加を
夢見るオゲレツ変態レイヤーにまで成り下がって
しまった……）

ふんふん♡
どっだ♡の
ステベ乳♡
うーん♡
うーん♡

ふんふん♡

「んふっ♡
はじめまして……だ……
これからドスケベ
しまくるつもり
の変態レイヤーの
みずはと言うモノだ♡
今後よろしく頼むっ♡」

ふんふん♡

「ふん♡ふんっ♡んひっ♡
自慢はこのオゲレツデカパイだ♡
あと剛毛ですく脇毛が生えてしまっ
ドスケベ体質だ♡……ふふ♡
ちなみに水泳部なので今日は
豚コス競泳水着で撮影している♡」

「んお♡ふうふう……このデカパイは116センチの
Qカッつだ♡んふっ……♡下品だろ？
元々デカかったんだが……んほっ♡
こ……このデカチンで……すんすんっ♡
ハメられまくって……更に育つて
しまったんだ……くんくんっ♡
ふうふう♡んご……んごお♡」
「ぐふ♡本当に豚みたいですすね♡」

おあいっ♡
のうん♡
うん♡
うん♡

「はあはあ♡たまらんっ♡
ガマンできないので……
早速このデカチンをデカチンと
ロマンコでしゃぶり倒すっ♡
お前たちもチンコっ♡シコシコして♡
ザーメン吐き出してくれたら
嬉しいぞ♡」

みずは

(今は…今だけは…生徒会や
戦隊の使命を忘れても……
…構わん……よな♡)
「んぶううん♡あむ♡
あぶ♡ぶひゅう♡ぶひい♡」

「おう♡スケベ声だしながら
ガッツきますね…本当に
豚みたいですよ…おぐ♡」
(仕方ないだろ♡今日一日
安治とスケベしまくると
考えたら……)

ドスケベ豚にも
なつてしまつ♡♡)

「おう♡これは…
スケベすぎて…
ふおっ!♡」

「んぢゆる♡ザーふえん…うめっ♡
んぢゅううう♡んぶう!?♡
…ひくび…いぶうん!♡」

「ぬふっ♡母乳も
よく出るように
なりましたね♡
特製の避妊薬の
おかげですな」
「ふうふう♡
そう…だな…
おかげで中出し
しまくっても
未だに妊娠は
してないぞ♡」

ぬふっ♡
ぬふっ♡
ぬふっ♡
ぬふっ♡

(まあ体を作り
変える薬です
からね♡ジュウ
ソルジャーでも
徐々に…俺の
思い通りに♡)
「そ…それより
ご褒美チンポ♡
私に…ドスケベ
みずはに
チンポっ♡
ちんぽっ♡」

5時間後……

「おっ♡…んひひっ♡イキ潮とまんなひっ♡おっ…んぶひっ♡
…えへへ♡みずはの尿道こわれちゃった♡…ぬほっ!?♡
やつべ…まだ…ぶひんっ♡♡」
「ぬふふ♡本当に豚みたいでエロかったよ♡途中で出勤指令が
出てても無視してハメまくってくれて最高だわ♡ブタみずは♡」

「んふう♡当然!…今の私は、ただのブタ怪人だからな♡」
「しかし残念…ブタ怪人みずはがエロ過ぎて撮影わすれてた♡
また明日に撮影しなすか…今度は俺の部屋…でね♡」
「なっ!?…ああ!もちろんだ♡雑魚マンって尻も乳首も壊された
私だが腐っても元ジュウソルジャー…またデカチンポと♡
戦うぞ!♡無様に挑戦するブタ怪人の姿…次こそ
ドスケベに撮ってもらうからな♡…ぶひっ♡」

「ヤスルの
チンポ…
だいすき♡」

…翌日…
「ああ…朝陽か…スマン…今日もコイツとせっ…
…トレーニングがあつてな…なに…心配ない…
昨日は通信機の故障で現場に行けなかったが…
今回は大丈夫…だが…もし間に合わなかった時は…」

「…んほっ♡
よろしく…頼む♡」
（スマナイ…朝陽…
私は…この男に…
完全に…）

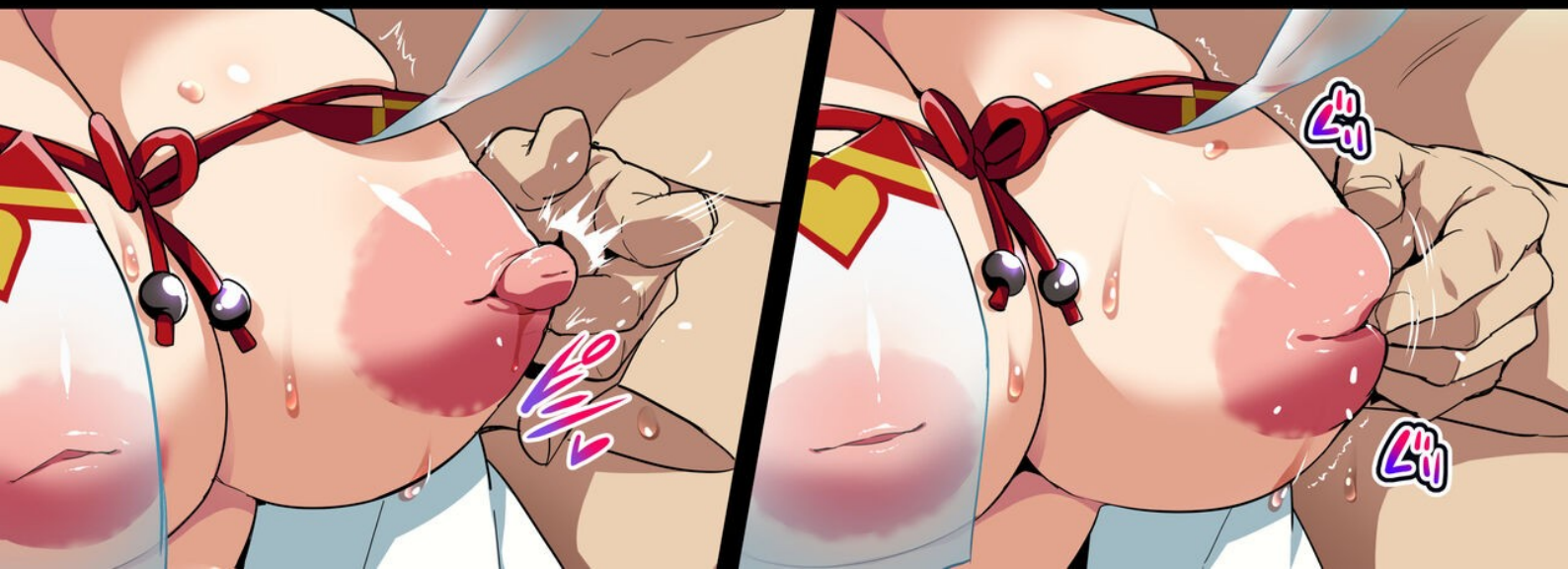
（こわされて
しまったようだ♡♡）

■奥付■
■発行日■ 2022.8.14
■誌名■ C100会場本 ブルーの(墜落した)日常
■著者■ 武田弘光
■発行■ 真珠貝
■印刷■ 株式会社 緑陽社
■Email■ pearl_shell@wing.ocn.ne.jp
■TWITTER■ <https://twitter.com/shinjugai>

















おろろろ
おおー

ぐい

グググ

グググ

あー

ずん

ん

ずん

ん

ズズ

ひおー

ズズ











